

スーパーの配送用車両をEVに置き換え、

太陽光発電・蓄電池・EVをAIで自動・最適制御

事例概要

事業者

- ・ 伊藤忠商事株式会社
- ・ 株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
- ・ 株式会社ヤオコー

地域課題

再エネ活用最大化、レジリエンス強化

事業概要

- ・ 伊藤忠とアイ・グリッドは2021年6月より、スーパーマーケット・ヤオコーの川越的場店・鶴ヶ島店において、EMSを用いた分散型電源プラットフォーム構築を進め、自家消費太陽光・蓄電池・EVを最適制御する実証実験を実施
- ・ 2022年1月からは、ネットスーパー配送用車両の一部をEVに置き換えて分散型電源プラットフォームに組み込み、AIを活用して自動制御するEMSの実証実験を行い、EV活用の有効性を検証
- ・ EVは配送時間外はV2H充放電器を通じてプラットフォームに常時接続し、店舗用の蓄電池として活用

実施状況

(2022年12月現在)

実証段階 (2021年6月開始)

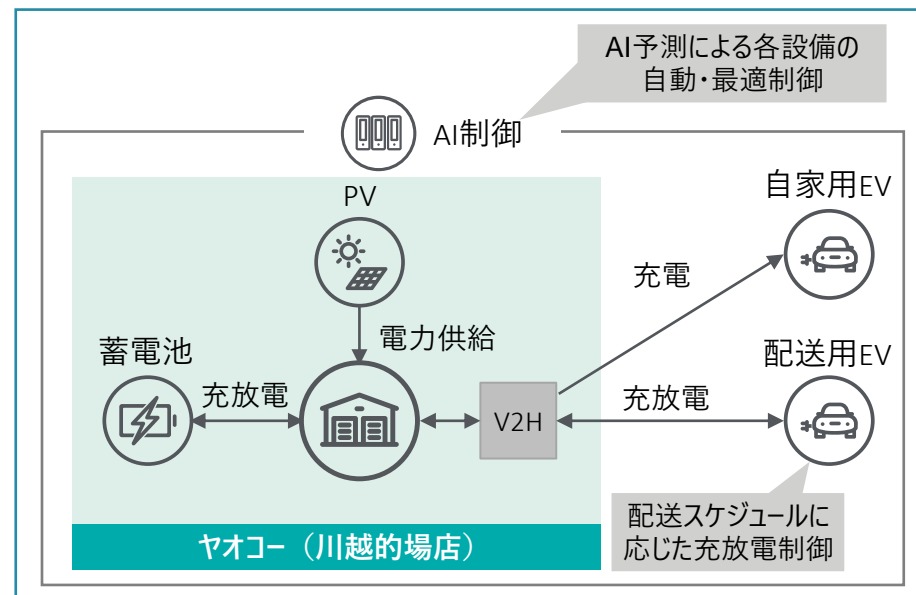
補助事業の利用

-

CO2削減効果

CO2削減量：93.8t/年
(2021年7月～2022年6月)

事業スキーム・体制



太陽光パネル



蓄電池



顧客向けEVパワーステーション